

徳島県立阿波高等学校硬式野球部基本方針

監督 鳴川 真一

1 目標 「徳島県初制覇」

創部90年を超える歴史ある野球部として、大きな目標に挑戦する。

高校野球を「支援して下さるすべての人に、感動と勇気を共感していただく活動」と定義し、愛される野球部を目指す。

2 目指す生徒像

(1)「生涯を通して、野球を心の友とする野球人の育成」

好きな野球をもっと好きになって卒業してもらいたい。野球の魅力を伝え、情熱を持って野球に取り組む高校生を育成する。

(2)「社会人として即戦カルーキーの育成」

礼儀を身につけ、思いやりのある人になってもらいたい。社会人としての基礎を身につけた高校生を育成する。

(3)「危機管理能力が高く、自己決定力のある選手の育成」

気づき力を高め、自ら問題解決する力を身につけてもらいたい。準備力や想像力をもとに、自己決定力のある高校生を育成する。

3 “徳島一”となるための攻防

1 回表 「プライド」

阿波高校野球部員であることに誇りを持つ

学校・クラス・野球部のために何ができるかを考えて行動する。自ずとプライドが育ち、自覚が生まれる。

1 回裏 「環境が人をつくる」

学校・部室・グラウンドを美しくしよう

気持ちよく練習に取り組める環境を整える。グラウンドには野球の神様がいる。もちろん、道具にも愛情を注ごう。

2 回表 「甲子園とは今」

本物の野球人になろう

甲子園につながる行動や練習ができているか常にチェックするとともに、上達するためのヒントがないか探求する。野球だけ、グラウンドだけの裏表がある人間は、野球人とは呼ばない。

2 回裏 「一流の高校生」

あたりまえのことを素晴らしくこなそう

「はい」という気持ちの良い返事やさわやかな挨拶をはじめ、清掃活動など、誰でもできることを素晴らしくこなそう。一流のプレーヤーである前に一流の高校生であれ。

3回表 「信は力なり」

可能性を信じよう

自分の限界を勝手につくらない。氣力（あきらめない心）を持つ。やる前から無理だと自分の可能性を否定することだけは絶対にしない。変化こそ成長の証。勇気を持って変化しよう。

3回裏 「もっともっと」

飽くなき向上心を持とう

技術の向上に終わりなし。まだまだではなく「もっともっと」。貪欲に自分を高めよう。“強烈な負けず嫌い”と“なぜだと頭をひねる探求心”が成長のエネルギーとなる。

4回表 「ありがとう」

感謝の気持ちを心から伝えよう

野球ができるのは、自分を支えてくれる多くの人たちがいるからだという感謝の心を忘れない。プラスの結果が出たときは、周りの人に“おかげさま”。ありがとうと伝えよう。

4回裏 「言い訳はいいわけない」

ごめんなさいと素直に伝えよう

マイナスの結果が出たときは、自分の所為にしよう。周りの所為にしていると成長のスピードが鈍る。言い訳は進歩の敵。失敗は、成長するチャンス。ごめんなさいと素直に伝えよう。

5回表 「全力疾走」

へたくその自覚を持ってがむしゃらに取り組もう

走る姿を見れば、本気かどうかわかる。走姿頭心、姿即心。自分がいちばんへたくそだと思って、誰よりもがむしゃらに練習に打ち込もう。

5回裏 「見逃し三振厳禁／好球必打」

チャンスの神様に後ろ髪なし

成功の反対は、挑戦しないこと。逃げない限り、方法 100 万通りある。振らないと何も起こらない。振れば、何かに気づく。とにかく一步踏み出そう。

5回裏終了 ただ今、グラウンド整備中です。

今しばらくお待ちください。